

第12回福知山市佐藤太清賞公募美術展

横浜賞表彰式の開催決定

神奈川県立弥栄高等学校 2 年生・林ひなのさん^{やえい}他が受賞

佐藤太清賞横浜賞について

「福知山市 佐藤太清賞^{きとうたいせい}公募美術展」は、平成生まれの若手を対象とした展覧会であり、横浜赤レンガ倉庫 1 号館の基本方針「新進アーティスト支援」に沿うことから、平成 14 年の開館以来、毎年度実施しています。また、平成 23 年度「第 11 回佐藤太清賞公募美術展」から、横浜会場としての発信性を高め、若手アーティスト支援の姿勢を明確にするため「横浜賞」を制定いたしました。

第 12 回を迎える今年度は県内の高校 2 年生・林ひなのさんが絵画の部にて横浜賞を、筑波大学大学院卒の森智子さんが日本画の部にて横浜賞をそれぞれ受賞します。

受賞作品:



「ある朝の風景」林^{はやし} ひなの(絵画の部)



「おひさまのうた」森^{もり} 智子^{ともこ}(日本画の部)

表彰式について

概要: 講評および横浜賞クリスタルたて授与式

日時: 平成 25 年 2 月 23 日(土) 13:30 から 30 分程度を予定しております。

会場: 横浜赤レンガ倉庫 1 号館 2F スペース

参加予定者: 林^{はやし} ひなの(絵画の部・横浜賞受賞者)
…神奈川県立弥栄高等学校 2 年

森^{もり} 智子^{ともこ}(日本画の部・横浜賞受賞者)
…筑波大学大学院卒

・佐藤 雅子(佐藤太清画伯娘)

・安田 晴美(佐藤太清画伯孫)

・船水 徳雄(審査員、日本画家・日展評議員)

・柏木 智雄(横浜美術館学芸教育グループ長・主席学芸員)

・菅原 幸子(横浜赤レンガ倉庫 1 号館館長)

展覧会について

会期:平成 25 年 2 月 22 日(金)～ 2 月 25 日(月) 11:00～18:00(会期中休みなし)

会場:横浜赤レンガ倉庫 1 号館 2F 入場無料

展示数:横浜賞受賞作品他 68 点(予定)

佐藤太清賞について

京都府福知山市出身の故佐藤太清画伯(日本画。平成 4 年文化勲章を受章)は後進の育成にも心を注ぎ、現在第一線で活躍する多くの日本画家を送り出してきました。福知山市はその功績を讃え、その志を受け継ぐため、21 世紀の芸術文化を担う人材育成を目的として、高校生・大学生を中心に全国から絵画作品の一般公募を行い、賞を授与しています。

<部門・応募資格>

絵画の部=絵画作品全般(応募資格:15 歳～20 歳)/日本画の部=日本画(応募資格:18 歳～27 歳)

<クレジット>

主 催/京都府福知山市・福知山市佐藤太清記念美術館

共 催/横浜赤レンガ倉庫 1 号館(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

名古屋市市民ギャラリー矢田(公益財団法人名古屋市文化振興事業団)

審査及び審査員について

平成 24 年 11 月に福知山市で開催された審査会で、下記審査員が横浜賞及び各賞を決定しました。

- ・中路融人(日本画家・日本芸術院会員・日展常務理事)
- ・絹谷幸二(洋画家・日本芸術院会員・東京芸術大学名誉教授)
- ・草薙奈津子(美術評論家・平塚市美術館館長)
- ・畑 智子(京都文化博物館学芸課長)
- ・福田千恵(日本画家・日本芸術院会員・日展常務理事)
- ・船水徳雄(日本画家・日展評議員)
- ・山崎啓次(日本画家・日展評議員)

<昨年度の作品>



佐藤太清画伯



佐藤太清画伯略歴

大正 2年(1913) 11月10日 福知山市に生まれる
昭和 2年(1927) 惇明尋常高等小学校卒業
昭和 6年(1931) 福知山実践商業学校卒業、上京
昭和18年(1943) 第6回 文展初入選「かずみ綱」
昭和22年(1947) 第3回 日展特選「清顔」
昭和41年(1966) 第9回 日展「風騒」文部大臣賞受賞
昭和42年(1967) 日本芸術院賞受賞
昭和55年(1980) 日本芸術院会員就任
昭和63年(1988) 文化功労者に列せられる
平成 4年(1992) 文化勲章受章
平成 5年(1993) 福知山市名誉市民となる
平成16年(2004) 11月 永眠

● お問い合わせ先 ●

横浜赤レンガ倉庫 1 号館 館長 菅原 幸子

横浜赤レンガ倉庫 1 号館 (担当) 林 育美 電話:045-211-1515